

ガス 湯沸器<瞬間式>

セントラルタイプ (メータボックス設置型)

法定型式
OUR-13F2A

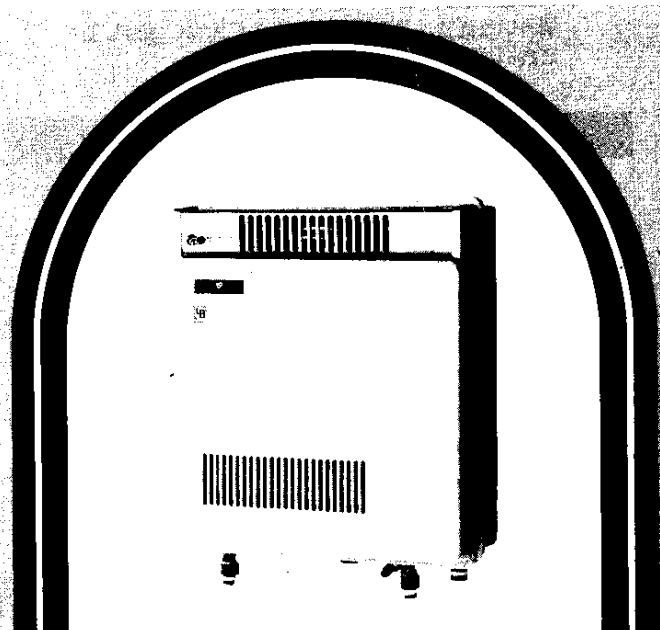


大阪ガス

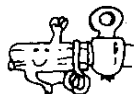
33-661型

33-662型

取扱説明書



ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も
ときどき点検を
よいゴム管を
カッチリと…



使用中は
熱くなります
手をふれないで
ください！



空だきには
ご注意ください



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを…

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

大阪ガス本社・支社所在地および電話番号

| | | | | | | |
|-------|--------------------|------------------|----|-----|--------------|-----|
| 本社 | 大阪ガスビル サービスセンター | 大阪市東区平野町5-1 | 電話 | 大阪 | 06(202)2221 | 541 |
| 南支社 | | 大阪市西成区玉出東2-9-41 | 電話 | 大阪 | 06(652)0001 | 557 |
| 北支社 | | 大阪市淀川区十三本町3-6-35 | 電話 | 大阪 | 06(301)1251 | 532 |
| 堺支社 | | 堺市住吉橋町2-2-19 | 電話 | 堺 | 0722(38)1131 | 590 |
| 北摂支社 | | 高槻市藤の里町39-6 | 電話 | 高槻 | 0726(71)0361 | 569 |
| 阪神支社 | | 西宮市和上町4-11 | 電話 | 西宮 | 0798(26)3101 | 662 |
| 東部支社 | | 東大阪市稲葉2-3-17 | 電話 | 河内 | 0729(62)1181 | 578 |
| 東阪支社 | | 枚方市西田宮町16-17 | 電話 | 枚方 | 0720(41)1251 | 573 |
| 神戸支社 | | 神戸市中央区相生町5-13-10 | 電話 | 神戸 | 078(576)5281 | 650 |
| 京都支社 | | 京都市中京区丸御池梅屋町358 | 電話 | 京都 | 075(231)8151 | 604 |
| 奈良支社 | | 奈良市学園北2-4-1 | 電話 | 奈良 | 0742(44)1111 | 681 |
| 和歌山支社 | | 和歌山市本町1-1-1 | 電話 | 和歌山 | 0734(31)2481 | 640 |
| 姫路支社 | | 姫路市神屋町4-8 | 電話 | 姫路 | 0792(85)2221 | 670 |
| 東播支社 | | 加古川市加古川町粟津29-1 | 電話 | 加古川 | 0794(21)1801 | 675 |
| 豊岡支社 | | 豊岡市三坂町6-57 | 電話 | 豊岡 | 07962(3)2221 | 668 |
| 湖南支社 | | 草津市追分町字荒塚600-1 | 電話 | 草津 | 0775(62)5811 | 525 |
| 彦根支社 | | 彦根市大東町9-41 | 電話 | 彦根 | 0749(22)3131 | 522 |
| 長浜(営) | | 長浜市南具服町3-4 | 電話 | 長浜 | 0749(62)7171 | 526 |

その他、当社サービスステーション、およびサービスショップ、風呂販売店

- ガス機器をご使用のときは、換気にご注意ください。
- お使いになったあとは、器具コックだけではなく鉄管先の元コックも必ず閉めましょう。
- ゴム管は、良質の大阪ガス製 マーク入りのものを、そしてコックに付いている赤線のところまで深く差し込み、必ずゴム管止めで締め付けましょう。
- お使いにならない鉄管先の元コックにはゴムキャップをかぶせておきましょう。

大阪ガス株式会社

ご愛用の皆様へ

このたびはガス瞬間湯沸器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。

つねに最良の状態でお使いいただくために、この「取扱説明書」にしたがって、正しくお使いください。

■保証書はお買いあげの店でお受け取りのうえ、よくお読みいただき、この説明書とともに大切に保存してください。

目次

| | |
|-------------------|----|
| ■特に注意していただきたいこと | 1 |
| ■各部の名称 | 5 |
| ■使用方法 | 6 |
| ■安全装置が作動したときの処置方法 | 11 |
| ■日常の点検・手入れ | 12 |
| ■長期間使用しない場合 | 13 |
| ■故障・異常の見分け方と処置方法 | 14 |
| ■仕様 | 15 |
| ■外形寸法図 | 16 |
| ■アフターサービス | 17 |

■特に注意していただきたいこと(1)

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

■使用ガスについてのご注意

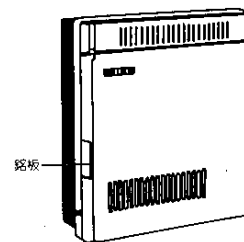
■使用電源についてのご注意

- 機器の前面に貼付してある銘板に表示されているガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。
- 銘板に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。

銘板例

| | |
|------------------------------|--|
| ガス瞬間湯沸器 | |
| 型式 OUR-13F2A | |
| 都市ガス用 屋外用 | |
| 13A 25,000 kcal/h | |
| 12A 24,000 kcal/h | |
| 株式会社 ガスター | |
| 定格電圧 100V | |
| 定格周波数 60Hz | |
| 定格消費電力 95W | |
| 日本水道協会登録表示 | |
| 型式名 OUR-13F2A(13) | |
| 型式登録番号 給水器具A-2458 | |
| 最低作動水圧 0.2kg/cm ² | |
| 検査証印 | |

(注)この部分を必ずご確認ください。



(例：都市ガス13A、12Aの場合)

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

■用途についてのご注意

- 台所・シャワー・洗面などの給湯以外の用途には使用しないでください。

特に注意していただきたいこと(2)

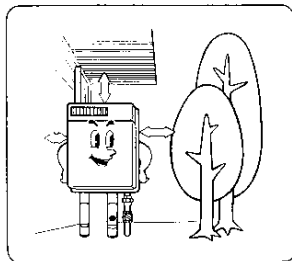
安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

■市販の補助用具使用についてのご注意

- この機器の付属品・補助用具以外は使用しないでください。
(不完全燃焼の原因となります。)
- 混合水せんをご使用になる場合は出口が絞られていない(瞬間湯沸器用混合水せん)を選定してください。水圧の低い地域では泡沫水せんを使用しないでください。

■使用場所についてのご注意

- この機器は、屋外設置型です。屋内には絶対に設置しないでください。
- 壁、その他の可燃物から十分離して、使用してください。



■機器の設置について

(詳しくは工事説明書をお読みください。)

- 機器の設置はお求めの販売店に依頼して、安全な位置に正しく設置してください。
- 正しく設置されているか確認してください。

■使用上のご注意

(1) ガス漏れ予防

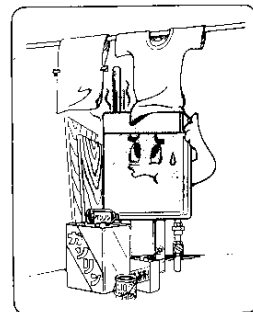
- 使用後は、燃焼ランプが消えたことを確認してください。
- お出かけのときや、おやすみの際には必ず運転スイッチを「切」の位置にし、ガス元せんをしめてください。

特に注意していただきたいこと(3)

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

(2) 火災予防

機器の上や、周囲には燃えやすいものを置かないでください。特に排気トップは洗たく物などでおおわないでください。

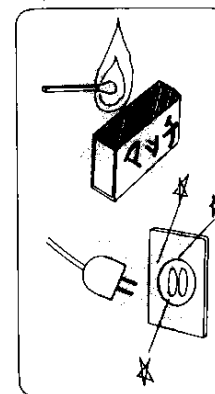


(3) やけどのご注意

使用中および消火直後は、フロントカバーや、排気トップが高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。

(4) ガス事故防止

ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんをしめ、お求めの販売店が最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。



(ご注意) 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、電源プラグの抜き差しや、近くの電気器具の「入・切」をしないでください。

(5) 凍結について

冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも寒波のため機器内の水が凍って機器が破損することがあります。詳しくは9ページの「凍結防止について」をお読みください。

特に注意していただきたいこと(4)

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

(6) 異常時の処置

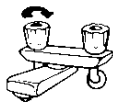
万一、異常燃焼（メインバーナー着火時や使用中に“ゴー”と音のするような燃焼）をおこしたときや、緊急の場合には、下図の処置をし、お求めの販売店か、最寄りの大阪ガス支社へ連絡してください。

①運転スイッチ
を切にする。



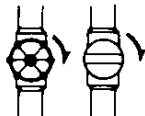
コントローラ

②給湯せんを
しめる。



お湯の使用場所

③給水せん・ガス
元せんをしめる。



機器の下部

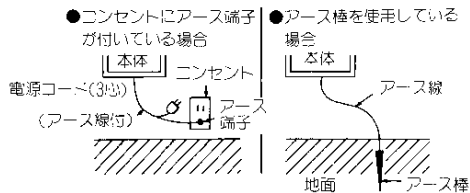
(7) 機器内に長時間たまった水は飲用または、調理に用いないでください。

(8) 雷が発生しているときのご注意

雷が発生しているときは、電源プラグを抜いておいてください。

(9) アース(接地)のご確認

ご使用前に次のいずれかの方法で正しくアースされていることを必ずお確かめください。



■日常の点検・手入れ

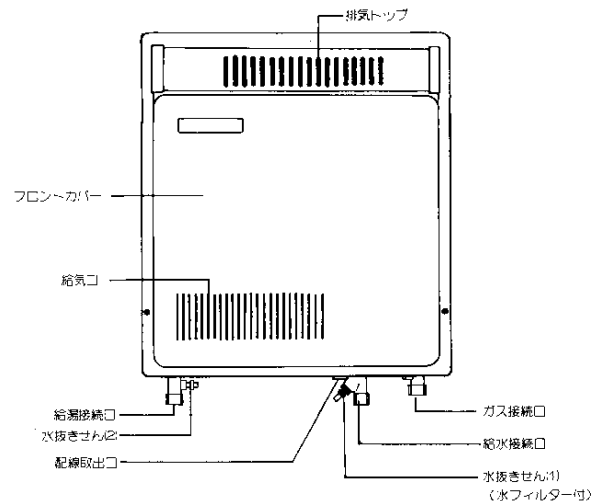
●日常の点検・手入れは必ず行ってください。

(詳しくは21ページをお読みください。)

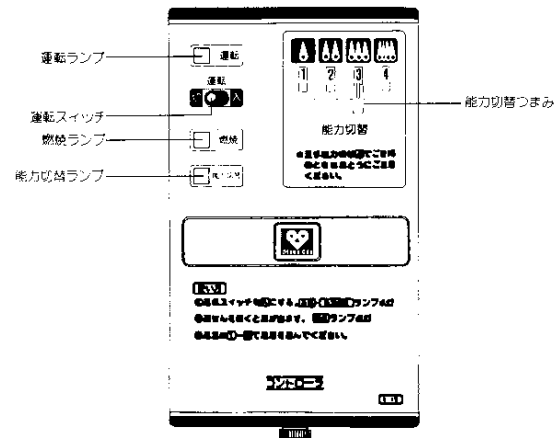
●故障または破損したと思われるときは、お求めの販売店か最寄りの大阪ガス支社へご相談ください。不完全な修理は危険です。

■各部の名称

■機器本体







■コントローラ



使用方法(1)

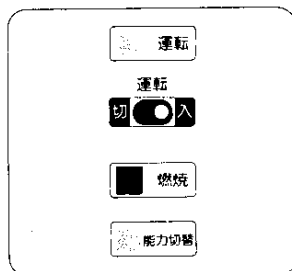
点火前の準備と確認

| 手順 1 | 手順 2 | 手順 3 | 手順 4 |
|--|---|--|--|
| <p>●給水元せんを全開にしてください。</p>  | <p>●給湯せんをあけ、水の出ることを確認してから始めてください。</p>  | <p>●ガス元せんを全開にしてください。</p>  | <p>●電源プラグをコンセントに差し込んでください。</p>  |
| 機器の下部 | お湯の使用場所 | 機器の下部 | 機器の下部 |

点火・給湯

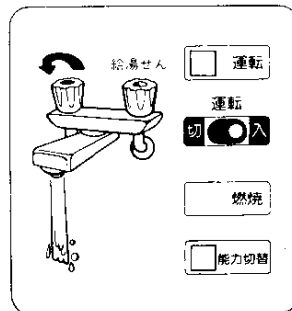
(1) 運転スイッチを **入** にします。

運転ランプと能力切替ランプが点灯します。



(2) 給湯せんをあけます。

自動的にバーナーに点火し、お湯が出ます。
点火すると燃焼ランプが点灯します。



使用方法(2)


〔ご注意〕

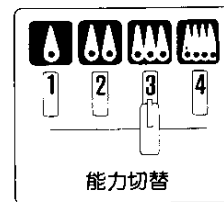
はじめて点火するときは、ガス配管中に空気が入って点火しにくいことがあります。この場合は、空気が抜けるまで次の操作をしてください。

- ①給湯せんをあけ、水を流しつつてください。
- ②運転スイッチを**入**→**切**→**入**の操作を燃焼ランプが点灯するまで繰り返してください。

※**入**および**切**にしている時間は約5秒です。

湯温調節

- 能力切替つまみをお使いになる湯温にセットしてください。
- 高温でお使いになる場合は、 にセットしてお使いください。
- コントローラの能力切替つまみを右側にするとガス量が減ってぬるくなり、左側にするとガス量がふえてあつくなります。

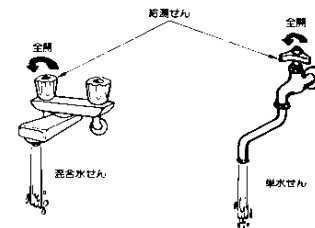


〔ご注意〕

シャワーをご使用のときは、能力切替つまみを夏季には②、冬季には③にし、水と混合してください。

能力区では高温のお湯が出ることがありますので、やけどにご注意ください。

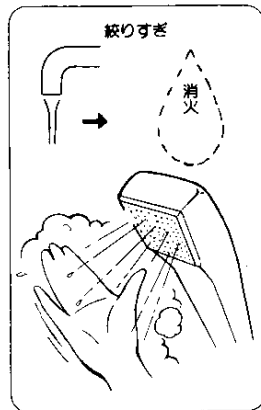
- 給湯シャワーをご使用になる場合、給湯せんは全開にして、ご使用ください。
- 給湯せんが全開でない場合、使用中に高温のお湯が出ることがありますので、やけどにご注意ください。



使用方法(3)

(ご注意)

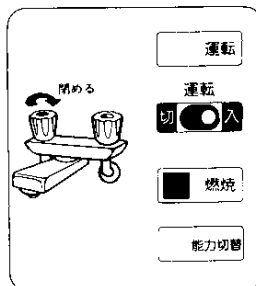
- 湯量は約3ℓ/分以下に絞りますと、メインバーナーの火が消えるようになっていきます。
- シャワーを使用されるときは、手で湯温を確認してからお使いください。
- 台所と風呂場などで同時に使用されますと、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中は同時使用をやめてください。



■消火

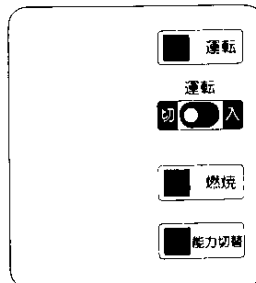
(1) 給湯せんをしめます。

自動的に消火し、燃焼ランプが消灯します。



(2) お出かけやおやすみの際など長時間使用しない場合は運転スイッチを[切]にしてガス元せんをしめてください。

(運転ランプと能力切替ランプが消灯)



使用方法(4)

■凍結防止について

暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください。

- 凍結すると機器や給湯配管が破損して、水漏れをおこしたり、機器が異常(空だきなど)をおこす危険性があります。
- 凍結による修理は有料となります。

次のいずれかの方法で凍結を防いでください。

- 壁掛及びパイプシャフト内設置の場合は(1)、(2)、(3)、いずれかの方法。

(1) 凍結予防ヒーターによる方法

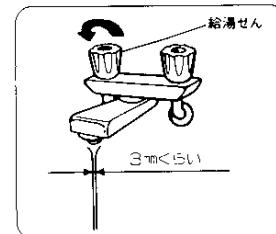
- この機器には、気温がさがってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターを組込んでいます。
- 凍結予防ヒーターは運転スイッチの[入]・[切]に関係なく作動します。

- 凍結予防ヒーターは電源プラグを抜くと作動しません。絶対に電源プラグは抜かないでください。

(ご注意) 外気温が極端に低くなりますと、この凍結予防ヒーターだけでは効果ありません。このような場合は、次の(2)または(3)の方法で凍結を防いでください。

(2) 給湯せんから水を流す方法

- ガス元せんをしめ、運転スイッチを[切]にして、給湯せんを開け、少量の水を流してください。
- 流量が不安定なことがありますので約30分後にもう一度流量を確認してください。
- 電源プラグは抜かないでください。



使用方法(5)

(3) 水抜きによる方法

次の順序で水抜きをしてください。

- ① 運転スイッチを「切」にし、ガス元せんをしめる。
- ② 電源プラグをコンセントから抜く。
- ③ 給水元せんをしっかりしめる。
- ④ すべての給湯せんを全開にする。
- ⑤ 水抜きせん(1)をゆるめる。(2~3回転)
- ⑥ 水ぬきせん(2)をゆるめてはまず。

* 排水量は約500ccですから、これに見合った容器を用意してください。

● 次にお使いになるまで、このままにしておいてください。

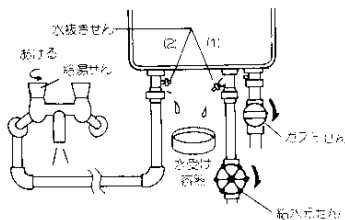
【ご注意】 ● パイプシャフト(メーターボックス)内設置の場合、パイプシャフト内部に絶対に水がこぼれないように注意してください。

● (1)および(3)の方法では、給水、給湯配管やバルブ類の凍結防止はできません。凍結防止のため配管には、必ず保温材を巻いてください。

● 冷え込みの厳しい地域では、「水道凍結防止器」を配管およびバルブ類に巻いて、十分な保温をしてください。

水抜き後再使用の時は、次の順序で操作をしてください。

- ① 水抜きせん(1)、(2)を元通りにしめる。
 - ② 給水元せんを全開にし、給湯せんから水の出ることを確認してから給湯せんをしめる。
 - ③ 電源プラグをコンセントに差し込む。
 - ④ ガス元せんを全開にして、点火・給湯の操作を行なう。
- 厳寒停電時凍結予防対策は、上語(2)、(3)のいずれかの方法で行なってください。



安全装置が作動したときの処置方法(1)

■ 処置について

点火操作しても点火しなかったり、ご使用中にメインバーナーが消火したときは、次の方法および4ページ「故障異常の見分け方と処置方法」に従ってください。

また、下記の安全装置が作動した場合には、運転スイッチを「切」にし、ガス元せん・給水元せんをしめてお求めの販売店が最寄りの大阪ガス支社へ連絡してください。

(1) 運転スイッチを「切」にする。

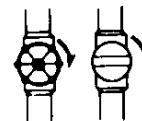


運転



コントローラ

(2) 給水元せん・ガス元せんをしめる。



機器の下部

(3) お求めの販売店が最寄りの当社営業所へ連絡する。



連絡

■ バーナー安全装置

- 万一使用中に消火したとき生ガスが出るのを防ぐためガスを止める装置です。(燃焼ランプが消灯します)
- バーナーの消火に気が付いたら、すぐにすべての給湯せん又はシャワーせんをしめてください。
- 再点火するときは、一度ガス元せんをしめてから給湯せんをあげて、排気トップから空気が排出されているのを確認してください。
- 何度も使用中に消火するのは異常ですから使用を中止してください。

■ 凍結したときは

- 凍結して水が出ないときは、運転スイッチを「切」にし、給湯せんをあげて水が出るまでまってください。
- 通水しましたら、給水、給湯配管から水がもれていないことを確認してから使用してください。

■ 停電時の処置

- 停電時は給湯せんをしめて運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通電したときは、点火・給湯の操作をしてください。

安全装置が作動したときの処置方法(2)

■空だき過熱防止装置

給湯せんをしめても、バーナーが燃焼を続けている場合に、作動してガスをしや断する装置です。

(燃焼ランプが消灯します)

■器体過熱防止装置

万一機器が異常な温度に上昇したときガスを止める装置です。

(燃焼ランプが消灯します。)

■過圧逃し弁

機器内の水圧が異常に上昇したときに作動し、機器内の圧力をさげて機器の損傷を防ぎます。

□日常の点検・手入れ

■点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れの前には、必ず給水元せんを、ガス元せんをしめ、電源プラグを抜いて、機器が冷えたことを確認してください。
- 機器は絶対に分解しないでください。

■点 検

- 機器および配管より水もれ・ガスもれはありませんか。(ガスもれは配管接続部に石けん水などをつけて調べてください。)
- 運転中に機器から異常音が聞えませんか。
- 機器の外観に異常は見られませんか。
- 機器のまわりおよび排気トップのそばに燃えやすいものはありませんか。
- 給湯せん先端に泡沫器が内蔵されているものについては、時々内部のフィルター(金網)を掃除してください。

(注) 水圧の低い地域では泡沫器を使用しないでください。

□お手入れ

機器やコントローラの表面が汚れたときは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。洗剤およびシンナー・ベンジンなどではふかないでください。

(注) コントローラの内部には電気部品が入っていますので絶対に水をかけないようにしてください。

■安全点検のおすすめ

ご使用上支障がない場合でも、安心してより長くご使用いただくために、年一度の安全点検をおすすめします。

お求めの販売店が最寄りの大阪ガス支社へご相談ください。

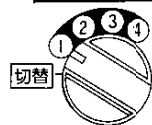
□長期間使用しない場合

長期間使用しない場合は必ずガス元せん、給水元せんをしめ、コントローラの運転スイッチを「切」にしてください。

■別売部品シャワーコントローラの使用法

- (1)コントローラの運転スイッチを「入」とするとシャワーコントローラの運転ランプが点灯します。
- (2)シャワーコントローラの運転・能力切替つまみを①の位置に合わせると、シャワーコントローラの能力切替ランプが点灯します。
- (3)給湯せんを開くとお湯が出ます。(燃焼ランプ点灯)シャワーコントローラの運転・能力切替つまみの①~④の切替で湯温調節してください。
- (4)シャワーコントローラを使用しないときは、運転・能力切替つまみを「切替」の位置にしてください。メインコントローラの能力切替ランプが点灯します。

運転



運転・能力切替

能力切替

燃焼

故障・異常の見分け方と処置方法

| 現象 | 点火しない | 燃焼ランプが点灯しない | 燃焼ランプが点灯しない | 能力低下 | 使用中に消火する | 異常な音をたてて燃える | 圧縮の油漏れが出る | 処置方法 | 点検処置 | | 参照ページ |
|-----------------------------|-------|-------------|-------------|------|----------|-------------|-----------|------------------------|------|------------|-------|
| | | | | | | | | | お客様 | 販売店・大塚ガス会社 | |
| ガス元せんの開き不十分 | ○ | ○ | | | | | | ガス元せんを全開にする | ○ | | 6 |
| ガスが残り少ないまたは無い (LPガスの場合) | ○ | ○ | | | | | | ボンベを新しく請える | ○ | | 7 |
| ガス配管内に空気が残っている | ○ | | | | | | | 点火操作を繰り返す | | ○ | 7 |
| ガス圧が適切でない | | ○ | | | | | | 点検を依頼する | ○ | | |
| 給水元せんの開き不十分 | ○ | ○ | | | | | | 給水元せんを全開にする | | ○ | 6 |
| 水圧が適切でない | | ○ | | | | | | 点検を依頼する | | ○ | |
| 水フィルターのつまり | ○ | ○ | | | | | | 点検を依頼する | ○ | | |
| 給湯せんの絞り不十分 | | | | | | | ○ | 給湯せんを絞る | ○ | | 7 |
| 給湯せんの開き不十分 | ○ | ○ | | | | | | 給湯せんを開く | ○ | | 6 |
| 凍結している | ○ | | | | | | | 解凍するまで使用中止 | | ○ | 10 |
| 給排気口のつまり | ○ | | | | | | | 点検を依頼する | ○ | | |
| 電源プラグが抜けている | ○ | | | ○ | | | | 電源プラグをコンセントに差し込む | ○ | | 6 |
| 停電している | ○ | | | | ○ | | | 通電するまで待つ | | ○ | 10 |
| 安全装置の作動 | ○ | ○ | | | | | | 点検を依頼する | | ○ | 11 |
| 使用ガスと銘板が不一致 | ○ | ○ | | | ○ | | | 交換を依頼する | | ○ | 1 |
| 使用電源と銘板が不一致 | ○ | ○ | | | ○ | | | 交換を依頼する | | | 1 |
| シャワーコントローラ (別売部品) に切り替えている。 | | | | | | ○ | | シャワーコントローラの取替つまみで切り替える | ○ | | 13 |

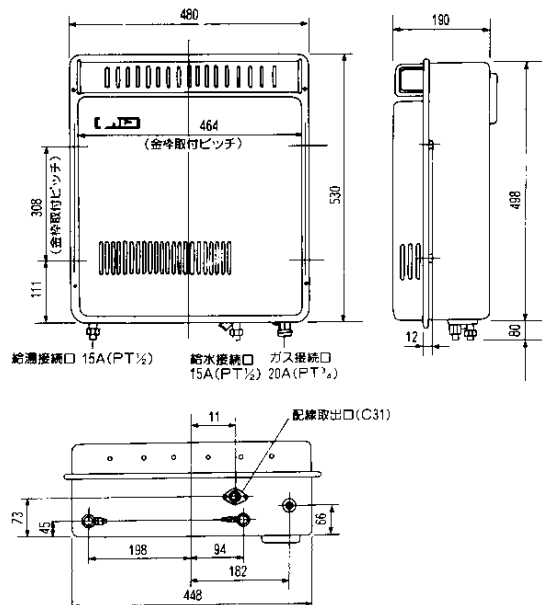
仕様

仕様表

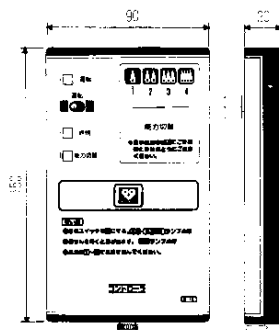
| | | |
|-------------|--------------------------------------|----------------------|
| 種類 | ガス湯沸器セントラルタイプ(据置式)、メータボックス設置型 | |
| 番 号 | (33-661型 33-662型) | |
| 型 式 | OUR-13F2A | |
| 外形寸法 | 高さ530×幅480×奥行190 | |
| 外 装 材 質 | 電気亜鉛メッキ鋼板塗装仕上げ | |
| 製 品 重 量 | 20kg | |
| 接続口 | ガス | 20A (PT3/4) |
| | 給 水 | 15A (PT1/2) |
| | 給 湯 | 15A (PT1/2) |
| ガス消費量 | 最大25,000kcal/h～最小7,500kcal/h | |
| 能 力 | 13～3.7号 (相当) | |
| 能 力 切 替 | 大～小4段 | |
| 水 圧 作 動 水 圧 | 0.2kg/cm ² | |
| 電気関係 | 電 源 | AC100V 50Hz、60Hz |
| | 消費電力 | 95W |
| | 点火方式 | 連続放電点火方式 (ダイレクト点火方式) |
| 給湯方法 | 混合水せん方式 | |
| 制御装置 | ガスガバナ | ダイヤフラム式 |
| | 水ガバナ | ハイカットガバナ |
| 安全装置 | バーナー安全装置 | フュームカット |
| | 流水感知装置 | 汚水スイッチ |
| | ファン感知装置 | 風圧スイッチ |
| | 空だき過熱防止装置 | サーミスタ |
| | 沸とう防止装置 | サーミスタ |
| | 液体過熱防止装置 | 温度ヒューズ |
| | 過圧防止弁 | ブローバルブ |
| | 凍結防止装置 | サーモ付電気ヒーター・91W |
| | 排水装置 | 手動式水抜きせん |
| | 誘導雷保護装置 | 半導体および放電管 |
| 付属部品 | コントローラ式、別こん：壁掛金具一式 | |
| 別売部品 | リモコンコード (8、10、15、20、50m)・シャワーコントローラ式 | |

外形寸法図

■本体



■コントローラ



アフターサービス

- 14ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に示すような故障の症状があった場合、この取扱説明書をよくお読みのうえ、再度点検をしていただき、なお異常のあるときは保証書をお示しのうえ、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにお申し出ください。
- ご不審な点や故障のおきだとき、また部品については、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにお申し出ください。
- ご連絡いただくときは、器具の左側面に貼付してあるコード番号も合わせてお知らせください。

〔例〕

(4) 33-661(U)

大阪ガス株式会社 03

(N) 33-661(U)

大阪ガス株式会社 03

別添の保証書は大切に保存してください。

■転居される場合

- ガスには15の種類があります。ご転居などによりガスの種類が変わったときには、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。この場合の改造に要する費用は、保証期間内でありまして有償です。

■定期点検のすすめ

- 毎日お使いいただいているガス器具も、安心して未永くお使いいただくためには、定期的な点検とお手入れが必要です。
- 一般家庭では2～3年に一度、業務用など長時間ご使用になる場合は1年に一度程度、専門家による分解手入れをお申し込みください。
- お申し込み先……大阪ガスサービスショップ、サービスステーション、大阪ガス支社
- 上手に、長く、美しくお使いいただくためには、お手入れが大切です。習慣づけるようにしましょう。
- この製品を設置する場合は、設置基準に従って設置してください。

■おねがい

- ガスくさいときは、ガス元せんを閉じ、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。
- * 当社支社の住所・電話番号は裏面に掲載しております。